



学校だより

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で

令和6年 1月号

学校HP

横浜市立谷本小学校



新年を迎えて

校長 高橋 哲雄

新年を迎えました。明けましておめでとうございます。

さて、今年は今和6年、西暦2024年。子どもたちは、今年はどうな1年にしようか様々な思いや願いをもって新しい年を迎えたことと思います。子どもたちのその思いや願いを一つでも多く実現してほしいと思います。そのためには、時として様々な困難に耐えたり、粘り強く取り組んだりする必要があります。昔からそういう人のことを「骨のある人」ということがあります。自分の体や心を精一杯使って、物事をやり遂げたり、怠けないで一生懸命取り組んだりしなければ、「骨のある人」とは言えません。また、「骨のある人」とは、自分のためだけでなく、人のために「骨を折ることができる人」「苦勞や努力ができる」人でもあります。「骨を折る」とは、苦勞すること、精を出すということです。

新しい年を迎え、気持ちを新たに、この1年、自分の思いや願いに向かって努力することや苦勞することを厭わず、「骨を惜しまない」1年にしてほしいと願っています。

1月1日16時過ぎに、石川県能登地方で大きな地震が起きました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

私は、毎年手帳を新しくした時に必ず、東日本大震災で亡くなられた方、未だ行方不明となっている方の数を1ページ目に書いています。忘れないためです。私たちはあの時の経験を風化させてはいけないと思っています。いつ起こるかわからない災害に自分ができる備えについて、今私たちにできる被災地への支援について、また、学校はどういう役割を果たすべきなのか、改めて考えさせられました。

書初め大会

先日1月6日には、谷本小学校の体育館で谷本連合自治会青少年指導員新春恒例「書き初め大会」が行われました。本校からもたくさんの子供たちが参加し、新年の清々しい空気の中で、姿勢を正し、心を落ち着かせて取り組みました。1年生から6年生まで、じっくりと時間をかけながら書に取り組む姿には感心しました。書初めの後には、校庭でこま回し、凧あげ、や羽根つきなどお正月の遊びを楽しむことができました。



1月9日の朝会、下谷本囃子保存会の皆様に来ていただきました。